

日本六古窯サミット2022 in 信楽

～ 12年ぶり3回目、甲賀市を会場に ～

テーマ
ろっこようはく
六古窯博覧会

共催：六古窯日本遺産活用協議会（越前町・瀬戸市・常滑市・丹波篠山市・備前市）

信楽窯業技術試験場の移転オープンを記念し、『日本六古窯サミット2022in信楽』を開催します。

2025年に万博が関西で開催されることを踏まえ、関係者の交流を深めるといふ従来の目的に、**新たな関係性を広げる**という目的を加え、次の千年に向けた新たな出会いを生む「開かれた」集客力のある催しとします。期間中はさまざまな催しが行われます。芸術の秋、地場産業である「**信楽焼**」の**今とこれから**をぜひ見に来てください。

1

企画展示

「伝統の中の新しさ」 六古窯展

日本六古窯の活動を俯瞰するとともに、伝統の中にある新しさを見出し、これからの産地の方向性を模索します。

会場… ①県立陶芸の森
(信楽産業展示館)

日程 10月7日(金)～
11月6日(日)

内容 日本六古窯のこれまでの活動を紹介する展示
信楽窯業技術試験場の歩みと信楽焼産地のアーカイブを展示

会場… ②信楽伝統
産業会館

日程 10月7日(金)～
11月9日(水)

内容 やきものの産地の未来を担う子どもたちの作品を展示

2

ワークショップ

「その広がり求めて」

野焼きフェスティバル

会場… ①県立陶芸の森
(泉の広場)

信楽陶匠会の指導のもとに、次世代への承継を目的に、子どもたちが作った作品を野焼きで焼成します。焼成後は信楽伝統産業会館で開催する企画展で展示します。

アートと音楽の融合

会場… ①県立陶芸の森
(信楽産業展示館)

「ストリートピアノ」を見に来てください！
やまなみ工房のアーティストが絵画や立体物で装飾したピアノを、会期中にストリートピアノとして展示、一般開放します。

3

マーケット

「開かれた催し」

やきもの以外にも
たくさん販売
されるので
ぜひ来てね！

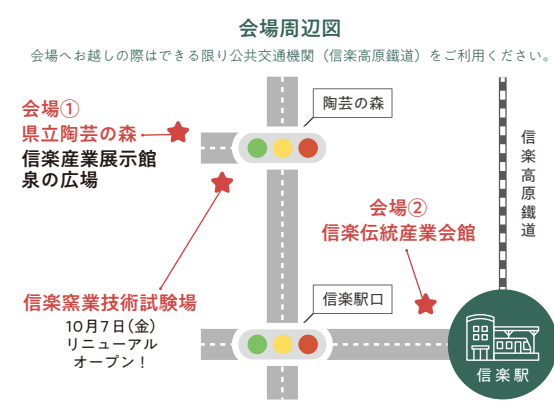
会場… ①県立陶芸の森
(信楽産業展示館)

やきものに限らず、六古窯のさまざまな地域資源（各産地の海の幸・山の幸・工芸品など）を持ち寄り紹介するマーケット（六古窯市）です。

日程 10月7日(金)～
10月16日(日) 10時～16時
※初日は12時～17時
最終日は10時～15時
出店予定… 六古窯関係団体など

「陶器まつり」の サテライト会場

また、陶都・信楽まつり実行委員会主催によるサテライト会場が同会場にオープンします。
※「陶器まつり」は10月16日(日)までです。



ストリートピアノによる
アートピアノライブに
ぜひ来てね！

会場… ①県立陶芸の森
(信楽産業展示館)

日程 10月8日(土)～10日
(月・祝) 各日2回公演
①13時～②15時

出演者
10月8日(土) 花田えみ(オルガニスト・ピアニスト)
10月9日(日) 松尾 優(ピアニスト・作曲家)
10月10日(月・祝) 岸本良平(ジャズピアニスト)



▲活動に参加されている信楽中学校の生徒の皆さん

昨年の「シガラキマニア2021（信楽まちなか芸術祭）」で生まれたプロジェクトです。地域の身近にある陶芸産業を通して、自身の将来の可能性を探る「仮想の会社」です。今年7月にあらゆる世代が気軽に立ち寄れる「コミュニティ施設（拠点）」が新たにオープンしました。ここではカフェの他、生徒が制作デザインしたオリジナル作品の販売や、絵付け体験などのワークショップ（不定期）も実施されています。

新たな
出会いの場
②

多世代交流拠点が新たにオープン！
信楽焼で地域活性化につなげる
「地域の大人と生徒の「信楽中学生カンパニー」」

今後、本施設を活用し、大人との世代間交流を通じ、地域のことを話し合い、そこから生まれるアイデアを形にしていこうということです。信楽中学生カンパニーに参加されている生徒にお話を伺いました。

Q…信楽焼の企画・制作・販売などに関わってみたいですか？
A…地域に関わるのは初めて。信楽への特別な思いがありました。新しい発見があり、地域のことがかかりうれしいです。
Q…今後信楽焼にどのように関わってみたいですか？
A…親戚の人や海外の人へも広く紹介したいです。
A…以前より身近なものになりました。これからの新しい商品を開発したいです。
Q…コミュニティ施設をどのように活用していきたいですか？
A…休みの日に遊びに行き、ゆっくりできる場所ができました。もっとみんなに知ってもらいたいです。
A…家族に私たちの新商品を見せたいです。



▲コンビニエンスストアとタイアップ（地域限定）して販売された生徒たちがデザインした信楽焼の陶器カップ

地元のことを少しでも知ってもらい、将来この地域に住み、働いてくれる若者を増やしたい、そんな思いを形にしたのが「信楽中学生カンパニー」です。
こうした取り組みを通して自分の住んでいる地域の良さを見つめる機会になったようです。

信楽窯業技術試験場が移転し新たにオープン！ ～モノ・ヒト・コトで新たなやきものの魅力発信を～

10/7(金)

滋賀県工業技術総合センター
信楽窯業技術試験場
場長 中島 孝さん

Q…これからの窯業技術試験場の役割は？

A…これまでの製品の品質や性能、デザインなどを開発するモノづくり支援、信楽焼の後継者を育成するためのヒトづくり支援に加え、地域の連携交流により、新たなやきものの魅力発信により地域活性化につなげるコトづくり支援を3本柱に企業支援をおこないます。特に今回の移転により、陶芸の森をはじめ、甲賀市や地元企業などとも連携し、多様な分野の人材交流や新たな魅力の発掘、付加価値の創造をおこない、国内外へ発信していけるよう、共に取り組んでいきたいと思っています。



▲後ろは、旧庁舎から1階展示スペースに移設された熊倉順吉氏デザインの陶壁画レリーフ

地域連携と交流発信拠点として、新たに展示交流スペースやロクロ成形の研修風景を見学できる屋外通路を設けました。近くに来られた際にはぜひ立ち寄りください。
(場所は次ページ参照)